

# 光照院たより

発行：(宗) 光照院  
 発行日：令和6年10月11日  
 台東区清川1-8-11  
 TEL. 03-3872-8487  
 FAX. 03-3875-5485



## 改修工事後の光照院本堂

七月の盆供養直後から始まった光照院本堂の改修工事は三カ月半に及び、十夜法要を迎える十一月まで続きます。

光照院を拠点に生活困窮者支縁活動を行うひとさじの会に参加しているボランティアさんのご縁で、素晴らしい宮大工さんに施行していただくことになり、ひび割れた本堂は見る見るうちに美しくよみがえってゆきました。

本堂を屋外から拝む場である向拝部分（本堂正面）の垂木や左右の浜縁は白く生まれ変わり、頭上には新しく立派な雨どい

が取り付けられています。上の写真では見えませんが、大きくひび割れた本堂裏手外壁も新しくなり、本堂内脇陣の天井や床下の柱など、ひどく腐っていた部材はすべて新しく取り替えられました。その他、雨戸や玄関前の屋根や柱など、劣化した箇所はすべて改修されました。

大きな地震が頻発する昨今ですが、本堂改修工事にご協力くださった檀信徒のみなさまのおかげさまで、今後もながく安全にご参拝をいただける環境を整えることが出来ました。みなさまに心から感謝を申し上げます。

さて、関東大震災と東京大空襲によって二回焼失し、その再建工事には大型台風による水害で流された光照院本堂は、昭和三十年代後半によりやく完成します。

## 本堂改修工事のご報告

住職 吉水岳彦

戦後の混乱期にお寺を支えてくださった当時の檀信徒のみなさまのご尽力の賜物です。

それからまもなく七十年が経過します。阿弥陀如来様の救いにご縁を結ぶ場であると共に、地域の子どもたちの居場所でもあった光照院は、小さいながらも戦後の多くの困難を抱えた人たちを物心両面から支える場所として機能し、いまに至ります。

しかし、残念ながら、長い歳月をかけても世の中は善くはならなかったようです。世界を見渡せば、地球温暖化の影響で災害が激化し、大勢のいのちが失われています。一方で、世界各地では争いが起こり、戦火に苦しむ人が増え続けています。かつて戦争や災害で苦しんだ歴史を学びながらも、人間の愚かさは変わらず、「自分

さえよければよい」という心の貧しさは、世界を貧しく苦しいものへと変えていくのでしょうか。

そうした世界の混乱は他人事ではなく、日本も災害や困窮で苦しむ人は増加し、その中で心を病む人も多くいらつしやいます。そんな世であればこそ、同じ世界で生きる者同士、あらゆる小さな生き物に至るまで、慈愛をもって支え合いい生きる心を教える佛法が大切なのです。

これからの光照院は、このお寺を支えてくださった過去から現代にいたる檀信徒のみなさまのお気持ちにむくいるべく、改修された本堂を中心に、より多くの人に慈愛の豊かさを伝え、苦しい方々の心の拠り所となれるように努力してまいります。この度は、誠にありがとうございます。合掌

### 光照院行事予定

#### 《月例行事》

- ・ 第3の土曜日

光照念佛会

- ・ 第1と第3の月曜日

ひとさじの会

#### 《年中行事等》

- 2024年

- ・ 11月10日(日)

十夜会法要

- 2025年

- ・ 1月1日(水)

正月修正会

- ・ 2月2日(日)

一日授戒会

- ・ 3月17日～23日

春のお彼岸

- ・ 4月8日(火)

花まつり(降誕会)

- ・ 6月8日(日)

施餓鬼会法要

- ・ 7月13日～16日

お盆(新暦)

- ・ 8月13日～16日

お盆(旧暦)

- ・ 9月20日～26日

秋のお彼岸

- ・ 11月9日(日)

十夜会法要(来年)

※こちらは予定であり、何らかの理由で変更することもあります。

### お十夜会のご案内

この度のお十夜法要は、本堂改修工事を終えてはじめての行事です。みなさまのご協力によ

って綺麗になった本堂に、ぜひとも足をお運びいただきたく、お願い申し上げます。

時節柄、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス等の感染対策のため、ご来寺のみなさまに手指消毒やマスクの着用をお願いさせていただきます。引き続きご協力をお願い申し上げます。なお、お塔婆のご回向



### いのり大佛の鑿入れ式祭壇

いよいよ大佛を彫り始めるあたり、無事の完成を祈念して、職人さんたちと鑿(のみ)等の道具を浄める儀式を行いました。

も行いますので、大事をとってご欠席なさる場合にも、お寺にてご先祖様やご縁の方のご供養を行いますので、ご安心くださいませ。

まずは、皆様が心身ともに安楽にお過ごしになれますようにお祈り申し上げます。住職拝

### 《日程》

11月10日(日)

13時 法話

14時 法要

15時 終了

※法要の出欠と塔婆の申込、ご参詣の方の人数を同封のハガキにて必ずお知らせください。

※当日は本堂改修工事完了を祝して、拙寺佛教青年会がお祝いの弁当をご用意しています。

### 光照念佛会のご案内

てるてるねんぶつかい

光照院では、毎月お念佛とお写経を行う会を行っております。開催日は、基本的には毎月第3土曜日の15時から2時を予定しています。光照院の檀信徒に限らず、大切な人を亡くしたさまざまな方がご参加くださっています。

### 〈お念佛会の流れ〉

- 14時半 茶話会
- 15時 写経
- 16時半 法話
- 17時 念佛回向
- 18時頃 終了

### いのり大佛鑿入式

のみいれ

令和六年九月六日、石工の町として知られる愛知県岡崎市にある「石彫の戸松」にて、石巻いのり大佛の鑿入れ式が行われました。左上の写真は、その祭壇です。

正面に見える積み重なった石が、それぞれ大佛の頭や胸の部分、腰や膝などになってゆきます。祭壇の上には、模型の石膏像と、石工さんたちが振るう槌(つち)と鑿(のみ)、それらを浄めるための法具などが並べられています。

この大佛建立の発願は、東日本大震災から十二年を経てのちのこと。どれほど時間が経とうとも、愛する者を喪った悲しみが消えることはないと思われず、泣きすがりたいたい願う人々の想いとお念佛の声にこたえ、巨石より尊

きお姿を現し、その悲しみを一身に受けとめてくださる日がいまから待ち遠しいです。



### 一日授戒会開筵

じゆかいえかいえん

正式な佛教徒になるためには、佛教で最も大切な佛・法・僧の三つに帰依し、お釈迦様が説き示された「戒―善き人となるための生活習慣―」を授かることが必要です。佛教の戒は、殺生戒であれば、他のいのちを傷つけ奪うのではなく、慈しみ育むようにと教えるなど、ただ「〇〇をしてはならない」という禁止事項を説くものではないと思われず、これまでの生き方を反省し、積極的に善き行いを実践する習慣を身につけさせ、

徳の高い人間を育むのです。いかなれば、佛法によって生まれ変わる儀式といえます。そして、佛法を軸に新たな人生の一步を踏み出す者に与えられる名前が戒名なのです。

この2文字の戒名は、佛弟子となった証であり、死後に僧侶から授けられる長い戒名の一部になります。死後戒名は全部を授かるわけではありませんので、授戒は菩提寺の違う方も宗派の異なる方も受けることが出来ます。ぜひともご友人と共に釈迦様の教えをいただき、一緒に善き人とならせてもらいましょう。

日程は2025年2月2日の朝8時半〜夕方17時を予定しています。参加の冥加料は任意とさせていただきます。詳細についてはご参加希望の方に、後日、あら



庭の石佛とお花

ためてご連絡させていただきます。

この一日授戒会は、少しずつ開催回数を増やしていくつもりです。今回のご参加が難しくとも、また次の機会がありますのでご安心ください。みなさまの心と生活を潤す佛縁が結ばれていきますことを願っております。(住)

### 貧困・子供支援御礼

日頃より、光照院や住職の行う生活困窮者

や子どもへの支援活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。檀信徒様より頂戴したお供物やご支援の品は、困窮家庭や外国籍の方々に活用させていただきます。

米不足に驚かされたこの夏にも、多くの方が「米がなくて困っていないか？」と心配してお寺にお米を届けてくださいました。おかげさまで、米の値段が高騰して買えないと困ってい

る子育て世帯にも、困窮者にも、お米をお渡しすることが出来ました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

今後とも光照院では、支援活動を続けてまいります。お近くでお困りの方がいらっしゃるときには遠慮なくご相談くださいませ。合掌

### ひとさじの会活動

みなさまのご協力のおかげさまで、コロナ禍にも活動が継続できています。しかし、感染拡大防止の観点から、ボランティアの募集はいまだ休止のままです。また、ボランティア再開の折には、改めてご案内をさせていただきます。今後もしよろしくお願い申し上げます。合掌

光照院へのアクセス  
台東区循環バス「北めぐりん」「浅草駅」から

### 編集後記

秋の冷たい雨に揺られながらも、花はみずから鮮やかさを失うことはありません。人間はどうでしょう？人生の困難の雨にさらされても、なお、その心の内にあるやさしい心を失わずにいられるでしょうか。老いや病、称賛、中傷、利益、損失、出会い、別れなど、さまざまな風が吹くたびに、私たちは右往左往して落ち着きません。上の写真を見ると、石の観音様は、そんな私たちの揺れる心まで、花をめでるようにながめておられるよ

うに思えてきます。困難多き時代を生きるからこそ、他者を慈しむ心を忘れないようにありたいですね。(住)

### お佛具料ご寄進

爲 永照智君信女霊位 三回忌追善菩提  
「無量寿の間」業務用エアコン設置